

はいはいトリシュトリ
シュ

Galcia

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

氷結界の龍トリシユウラ。それは一枚のカード

ド
氷結界の龍トリシユウラ。それは某カードゲームにおいて猛威を振るう驚異のカード

氷結界の龍トリシユウラ。それはあまりの強さに封印（禁止指定）されていて、つい最近解放されたカード

氷結界の龍トリシユウラ。それはとある世界で暴走し、世界を凍りつかせ、時の歩みを止めさせたドラゴン

これは決闘（デュエル）好きな少年と

世界を滅ぼした一枚のカード・・・いや、一体のドラゴンの物語
少年とドラゴンは異世界でどんな物語を紡ぐのか

この小説は遊戯王の少しでも知識があると楽しくよめます・・・多分

第一話

目次

1

第一話

「ついにこの時が来た」

俺こと黒崎銀はとても興奮していた

その理由は・・・

「トリシューラ復活おめでとぅー！イヤッフー」

そう！長年使っていたカードであり、禁止カードとなつてしまった『氷結界の龍トリシューラ』が制限カードとして復活したのだ！

知らない人のために少し説明しよう

氷結界の龍 トリシューラ

☆9 水属性 ドラゴン族

ATK2700 DEF2000

チューナー＋チューナー以外のモンスター2体以上

このカードがシンクロ召喚に成功した時、相手の手札・

フィールド上・墓地のカードをそれぞれ1枚までゲームから

除外する事ができる。

遊戯王において三大アドと言われる手札・ボード・墓地アド。それがこのカード一枚によって一枚ずつ削られるのである。

神のカードでさえも、このトリシューラの前では無力だったこの極悪効果の影響もあり、禁止カードとなっていた

遊戯王のある物語でも、暴走し、世界は凍りつかせ、時の歩みを止めたトリシューラだがしかし、そんなトリシューラが帰ってきた！

ターミナルで出会ってから、幾度となくピンチを救ってくれたトリシューラ一度出ると相手を瞬殺してきたトリシューラ

困ったらとりあえずトリシューラ
俺の相棒とも言えるカード

今日はなんと素晴らしい日なんだ

「よし、こうしちゃいられないな。早速決闘しに行くぞ」

カードショップに行くため、デッキと電卓、その他を持って家の扉を開いた

もちろんトリシューラも忘れずに

次の瞬間

目の前に真っ白な空間が広がっていた

「・・・何処だよここ!?!いつもの風景は!背後にあるはずの我が家は!?!そして持ち物がトリシューラしかねえ!・・・ふう、落ち着け、俺。とりあえず状況整理だ。」

・・・ 普通に夢だろ常識的に考えて」

俺は周りを見渡してみた

目星：80↓07クリティカル

「今冒流的な何かが聞こえたような・・・ ん?なんだあれは?」

目の先にはいつの間にか机に紙と穴のあいた1〜4と書かれた箱が置いてあった。

とりあえず紙を手に取り文章を読むことにした

「えーなにになに?」名前を決めます。1の箱からカードを引いてください。』

なにもすることがなかったからその指示に従いカードを引いた。

『十六夜遊夜』

「次はなんだ?」性別と年齢を決めます。2の箱からカードを引いてください。』

再びカードを引いた。

『0歳男性』

「なんだか不安になってきたな・・・よし次だ『武器及び能力を3つ決めます。3の箱からカードを引いてください。』能力とか厨二くせえな」

再び（ry

『神器：氷結龍の三叉鎗』『容姿：中の上』『クツキングパパ』

カードを引くと、トリシューラのかうどが氷結龍の三叉鎗とかかれたカードとひとつになった

「俺のトリシューラアアアアアア！」

何が起こつてんだよ・・・もういいや。これで最後だ。これで夢が覚めるはず『種族に職業を決めます。4の箱からカードを引いてください。』

ふた（ry

『人間』

「もうカオス過ぎ」

作業を終えると、カードがすべて俺の中に吸い込まれた

そして新しい文章が現れた

「うおっ！なんなんだよ一体・・・わけわからん

『貴方には転生して頂きます。転生先はランダムとなつてい

るのでご注意ください。それでは良い転生者ライフを』

はあ？マジかよ！でも俺は知っている！こういうのは足下に

穴が開くのがテンプレだと！」

俺は足下を見る。しかし穴は開いていない

次の瞬間、頭上に穴が開き、俺を吸い込んだ

「ちよwwwこれは予想外www」

「ここで俺の意識は飛んだ

「オンギヤアア（ダスキンですかコノヤロー！）」

「生まれましたよー！元気な男の子です！」

「よく頑張ったなアキ」

「ありがとうあなた」

目を開けると、目の前には十六夜アキ

と不動遊星がいた

会話からして俺は転生したようだ

しかも蟹とそのヒロインが両親とかwww

んでもって蟹さん。あんた婿養子なんだね

「あなた、名前は決めてるの？」

「勿論決めている。俺と咲夜から一文字ずつ取って遊夜だ」

「いい名前ね。これからよろしくね遊夜」

これから俺はどうなるんだろう

とにかく今は、これから始まる赤ちゃんプレイをどう乗りきるか考えよう